

# 新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正に審査を行いました。  
委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

## 総務委員会

### 若者市民協働意識醸成事業

**問** 若者市民協働意識醸成事業は、高校生を対象に市民協働や社会参画の意識醸成を図る新たな取り組みですが、具体的にどのような進め方になりますか。

**答** 市民活動団体3団体程度がそれぞれ自分たちの活動を高校生にプレゼンテーションを行います。この事業に協賛いただける市内事業者、概ね3者程度を想定しており、各事業者10万円、総額30万円をご提供いただき、プレゼンテーションの結果、得票数に応じて協賛金が按分され団体に提供される仕組みです。高校生は、こうした経験をきっかけに、将来、本市のまちづくりに関わるような人材への成長に繋がることを目指します。

### 市民協議会

**問** 令和4年度は準備委員会にかかる予算とのことですが、協議会実施の狙いは何ですか。

**答** 現在、市の広聴ツールは「市長への手紙」「住民要望」「パブリックコメント」など、その多くは「個の意見」を聴く手法です。「市民協議会」は無作為で選ばれた市民が地域問題など政策課題を討議、合意形成のなされた意見を市政に提言する仕組みであり、住民参加型の広聴手法を実践し、市政に反映していくことを狙いとしています。

### 市立平田病院

**問** 新病院建設費、新病院建設支援業務委託料について、令和7年度までの継続事業ですが、進捗状況と令和4年度の業務はどのような内容ですか。

**答** 現在、移転後の運用、ビジョンに重点を置き進めています。例えば、外来患者の来院・受診・帰宅までの最適な動線などを検討し、配置の変更などを行ってききました。令和4年度は作成した実施設計を基に、運用方法及び職員数と職員配置の最適化のプラン作成を委託します。



総務委員会の様子

## 文教厚生委員会

### 地域福祉推進事業

**問** アウトリーチ継続的支援事業について、複合的課題を抱える方などに対する訪問相談支援を行う、コミュニケーションソーシャルワーカーの人員を増配する考えはありますか。また、重層的支援体制整備事業の本格実施となる令和5年度に向けて、どのような取組みを行っていきますか。

**答** 令和3年度の実績をみると、現体制では人員不足であると考えていますので、令和5年度に向けて適正な人員配置を検討していきます。また、教育部門との連携も重要であると考えていますので、併せて調整を進めていきます。

### ファミリーサポート 利用促進事業

**問** 1歳6ヶ月検診時に2時間分の無料券を配付することで利用者が増え、援助会員が不足する事態が想定されますが、どのように対応していきますか。

**答** 援助活動に対する謝金の引き上げや、活動時の安全性の向上などの改善策を講じつつ、幅広い世代の方に対して改めて勧誘活動を実施していきます。

### ICT教育推進事業

**問** 取組み内容と実施目的はどのようなのですか。

**答** 令和4年度は、半田市の現状分析を行い、半田市にふさわしい教育DX（デジタルトランスフォーメーション）について調査研究を進めます。目的は、「タブレット